

平成25年度

美深町行政評価報告書

(平成24年度施策)

平成25年度行政評価（平成24年度施策）について、次のとおり報告する。

平成25年 8 月29日

美深町行政評価町民委員会 委員長 山崎 晴一

美深町行政評価委員会 委員長 今泉 和司

1 評価の対象

第5次美深町総合計画に基づいた31の施策を評価した。

2 評価の方法

258の事務事業からなる102の主要施策について、行政評価委員会から提出された評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

※1 行政評価町民委員会 委員長 山崎晴一、副委員長 平田耕二 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎藤原正岳、○荒川賢一、松田征男、菅原淳子、茶谷つぐ美
産業経済部会	◎水本守、○平田耕二、谷口栄二、佐藤厚、雪田明美
環境行財政部会	◎齊藤宏行、○佐藤智三、山田洋子、山崎晴一、山本勝則

※2 行政評価委員会（行政内部） 委員長 今泉和司、副委員長 渡邊英行 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎瓜田晃、○吉田克彦、清水目桂子
産業経済部会	◎木戸一博、○長岐和彦
環境行財政部会	◎渡邊英行、○野口宏、長谷川浩

※3 三部会の評価施策数	
福祉教育部会	12施策 [41主要施策(119事務事業)]
産業経済部会	6施策 [17主要施策(54事務事業)]
環境行財政部会	13施策 [44主要施策(85事務事業)]

※4 四段階評価	
A評価 取り組んでいる	B評価 概ね取り組んでいる
C評価 一層の取り組みが必要	D評価 取り組みが見られない

3 評価の経過

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づいて、平成25年7月18日に第1回行政評価委員会を開催以降、8月1日には第1回の行政評価町民委員会を開催し、下記のとおり行政評価を実施した。

- ・ 5月 2日 1次(事務事業)評価調書作成
- ・ 5月 2日 2次(主要施策)評価調書作成
- ・ 7月18日 第1回行政評価委員会
- ・ 8月 1日 第1回行政評価町民委員会

- ・ 8月 1日 第1回各部会開催（3部会～2次評価結果確認作業）
- ・ 8月 9日 第2回環境行財政部会（合同会議）
- ・ 8月 9日 第2回産業経済部会（合同会議）
- ・ 8月12日 第2回福祉教育部会（合同会議）
- ・ 8月12日 第3回産業経済部会（合同会議）
- ・ 8月29日 第2回行政評価町民委員会
第4回(第3回)各部会開催（3部会評価結果確認）

4 評価の結果

31施策のうちA評価は19施策[61.3%]（前年度：22施策）、B評価は12施策[38.7%]（前年度：8施策）、C評価（前年度：1施策）は、D評価はなかった。

このようなことから、第5次美深町総合計画に基づく施策のほとんどは、取り組みがなされている若しくは概ね取り組まれているものと評価できる。

主要政策ごとに区分した施策の評価結果の概要については、以下のとおり。

1 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」		2 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」	
1 環境保全・環境衛生の推進	B (B)	1 農業の振興	A (A)
2 道路・交通網等の整備	B (A)	2 林業の振興	A (A)
3 住宅の整備	B (A)	3 商工業の振興	A (A)
4 計画的な土地利用	A (A)	4 観光の振興	A (B)
5 消防・防災体制の充実	A (A)	5 新たな地場産業の創出	B (B)
6 交通安全・防犯対策の推進	A (A)	6 就労対策・勤労者福祉の充実	A (A)
7 情報化の推進	A (A)		
8 消費生活対策の推進	A (A)		
3 次代を創る人を育てるまち「美深」		4 健康で明るく暮らせるまち「美深」	
1 幼児教育の充実	A (A)	1 健康づくり・医療の充実	B (B)
2 学校教育の充実	A (A)	2 子育て支援の充実	A (A)
3 家庭・地域教育の充実	B (B)	3 高齢者支援の充実	A (A)
4 社会教育の充実	B (B)	4 障がい者支援の充実	A (A)
5 芸術・文化活動の推進	B (B)	5 地域福祉の充実	A (A)
6 スポーツ活動の推進	B (B)	6 社会保障の充実	A (A)
5 みんなでつくる心かようまち「美深」		集 計	
1 住民主体のまちづくりの推進	B (A)	A評価	19施策 [61.3%] (22施策)
2 コミュニティ活動の充実	A (A)	B評価	12施策 [38.7%] (8施策)
3 男女共同参画の推進	B (C)	C評価	0施策 [0%] (1施策)
4 交流活動の推進	A (A)	D評価	0施策 [0%] (0施策)
5 行政経営の充実	B (A)	計	31施策

〈注〉 ()書きは前年度の評価結果。□は前年度よりも評価が上がったもの、■は前年度より下がったもの。

○ 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」

環境保全・環境衛生の推進では、新エネルギー普及事業に関して、当初の計画からは遅れているものの、再生可能エネルギー利用懇談会開催によって、びふか温泉へのバイオマスボイラー導入（平成26年度予定）に向けた環境づくりが図られたことは評価できる。これらの事業の推進に期待している。

水道・下水道の整備では、上下水道事業とも順調に運営され、町民としては快適な生活環境が確保されているが、町財政が厳しい中で歳入の確保及び歳出の抑制などにより、引き続き経営改善に努力されたい。

道路・交通網等の整備では、公共交通の充実、仁宇布線デマンドバス、市街地フレンドバス運行への取り組みは評価できるが、利便性の高いサービスの向上に努めるとともに、農村部の足の確保の問題などは継続して検討されたい。

橋梁長寿命化計画については、橋梁は住民生活に欠かすことのできない施設であり、計画的・効率的に保全するため計画的に事業実施を進められたい。

住宅の整備では、美深町住生活基本計画の推進において、公営住宅を含む町全体の住宅需要は多く、本計画に基づく住宅施策の推進がされていると評価するが、公営住宅の長寿命化計画に一部遅れがあり、財源確保を含めた計画的な事業推進を図られたい。

計画的な土地利用では、土地利用に関して、空家、空き地の活用対策や商店街の空洞化対策などの展開に期待する。

また、公園・緑地の整備では、都市公園や農村公園を指定管理により良好に管理されていると評価するが、一方で、老朽化している施設（望みの森トイレなど）もあり、計画的な改修等を検討されたい。

消防・防災体制の充実では、消防団の充実で、消防防災体制の中核的組織として、住民の安心・安全の確保を果たしているが、今後、団員の高齢化による団員減少化の懸念がある。

防災情報端末機は緊急通報への対応要望など課題はあるが、有効に活用されていると評価できる。今後も双方向通信のメリットを活かした活用を期待する。

交通安全・防犯対策の推進では、防犯対策の推進で、街灯改修事業実施によって維持管理経費の節減を図ると共に犯罪のない安全安心なまちづくり推進が図られたことは評価できる。

また、LED灯等への取り組みを、今後においても進められたい。

情報化の推進では、全町への高速情報通信網（光ファイバー）の整備により、多様な情報提供の充実が図られている。

情報セキュリティの面では、自治体レベルとしては現状では取り組んでいると評価するが、情勢の変化に対応し常に適切な対応に努められたい。

消費生活対策の推進では、消費生活相談体制の強化について、定住自立圏域の形成により広域で専門相談員を配置する体制を、H25年度から整備するよう相談体制の確立に取り組みがなされた。

消費生活に関する情報提供・啓発活動の推進では、身近な犯罪への防止対策に引き続き取り組むと共に、新たな消費生活課題へも柔軟に取り組む必要がある。

以上のとおり、『自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」』における施策評価は、A評価が5施策、B評価は3施策であり、全8施策についてはほぼ取り組まれていると評価する。

○ 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」

本町の基幹産業である**農業の振興**は、きめ細かく施策が実施されており、今後もより成果が上がることを期待している。特に農業経営者の高齢化と後継者不足は急速に進んでいる中、新規就農や規模拡大者の支援を行うことにより、成果が出てきている。今後も工夫して事業が継続、展開されることを期待する。

さらに、畑作振興事業では、輪作維持が必要とされており、今後も継続した支援が必要である。

鳥獣害防止対策事業については、3年間事業が行われ、電気牧柵の効果も出ており環境整備が整い評価ができる。

林業の振興も、農業と並ぶ本町の基幹産業であるが、森林資源の保全と育成は十分取り組まれており、引き続き計画的な保全・整備を望むものである。

また、固定式チップー機導入の助成を行うなど、林業経営の生産力の向上や木材需要拡大と加工体制が図られている。

林道網の整備については作業に効率化が図られているが、今後は、木材の需要拡大と流通・加工対策など、林業経営の安定化に向けた積極的な施策を講じるよう要望する。

商工業の振興においては、商工会に対する支援は特に充実していると高く評価する。

今年度も、「プレミアム商品券」が取り組まれ、商店街の活性化が図られてきている。

工業の振興は、「快適住まいづくり事業」によって、建設業の振興に効果があったと評価できる。

さらに企業の新規参入の支援策や町内事業者の改修などにも助成内容が拡充されるなどの改正が見られ、効果的な対策が期待できる。

また、中小企業の資金融通に係る保証料の補給についても経営安定の面から重要であり、一定の評価ができる。

観光の振興は、美深町イメージキャラクターを製作し、各種イベント等において幅広くPRが行われている。

広域的に行っている「きたいっしょ推進協議会 元気つけに北でしようプロジェクト」についても観光客誘致に向けた具体的なプログラムづくりやエージェントへのPR活動が行われており、評価ができる。

また、新たな取り組みとして教育旅行誘致事業にも着手しており、今後の事業に期待が持てるが、観光施設の老朽化が問題と考える。

今後は、滞在型観光に発展するよう、さらなる努力を期待するものであるが、一方で、情報発信・PRの部分について、関係機関と連携し、創意工夫した対策を要望する。

新たな地場産業の創出は、商工会青年部による「かぼちゃどぶろく美深」が新たな特産品として開発されてきており、少しずつではあるが、活性化が図られてきている。一定の施策が講じられており、すぐ成果が出るわけではないので、今後の展開に期待する。

就労対策・勤労者福祉の充実においては、求職者就業訓練事業を単費で実施するなど、一定の施策が講じられている。

また、退職金共済制度や勤労者福祉資金は大切な制度であり、今後も利用促進に向けPR等の検討を行う必要がある。

以上のとおり、『資源をいかす活力に満ちたまち「びふか」』における施策は、A評価が5施策、B評価が1施策であり、全6施策はほぼ取り組まれていると評価する。

○ 次代を創る人を育てるまち「美深」

幼児教育の充実では、全国に先駆けた幼児センターの取り組みの中で、住民ニーズにもこたえながら運営されており評価できる。

また、子育て支援事業においても他市町村と比べ、子育てしやすいと実感できる環境が整っていると評価できる。

学校教育の充実では、いずれも良く取り組まれているが、美深高校については、存続を図るため、魅力あるカリキュラムや就職に強い特色をもたせるなど工夫してほしい。

また、高等養護学校についても熱心に取り組まれていると評価する。

家庭・地域教育の充実は、児童館、子どもクラブや各種行事など、農村部などの遠隔地からの子どもの参加は依然として難しい状況にあり、利用率向上の面で改善に期待する。

子ども110番の家の拡大の取り組みは評価できる。

社会教育の充実は、文化事業は施設も充実している中で例年どおり取り組まれているが、町民には意外と見えにくいものとなっており、印象が薄くマンネリ感もある。今後の改善に期待したい。

アドベンチャー事業などは良い取り組みを続けていると評価する。

芸術・文化活動の推進は、資料館の展示については、特に更新や改善もなく、展示されているだけの印象であり、町民としては足が向きづらい。資料室の展示物の使用体験などがあると、子どもたちにとっても開拓の歴史を知る良い機会となるのではないかと。説明員を配置するなど充実を希望する。

スポーツ活動の推進は、エアリアルは良く取り組まれているが一層の努力を期待する。

中学生等の各種競技での活躍を聞くが、しっかりとバックアップをお願いしたい。あわせて、競技のすそ野が広がるような動機づけや啓発が必要である。

また、老朽化する運動施設への対応を急ぐとともに、各施設の利用率向上、有効利用方を講じられたい。

以上のとおり、『次代を創る人を育てるまち「美深」』における施策評価は、A評価が2施策、B評価は4施策であり、全6施策を通しては取り組まれていると評価する。

○ 健康で明るく暮らせるまち「美深」

健康づくり・医療の充実は、各種検診事業は、きめ細かく行われているが、受ける側の意識がまだまだという印象を受ける。受診率の向上に向け改善に努めてほしい。

医師や看護師の確保の点では苦労を理解すると共に一定の評価をしている。

子育て支援の充実
は転入者の意見を聞いても良く取り組まれ優れていると評価が高い。

高齢者支援の充実
は、よく取り組まれており、政策の維持を望むが、地域の高齢化や核
家族化がますます進んでおり、ネットワークづくりや支援体制づくりを充実してほしい。

障がい者支援の充実
は、障害者の地域移行の面での支援やニーズにも適切かつ積極的に
対応されており、評価する。

地域福祉の充実
は、充実しており、今後も質を落とさないよう引き続き取り組んでほし
い。

民生委員は地域に浸透して良く取り組まれており、日々の活動に感謝したい。

社会福祉協議会は財政的に厳しい部分もあり、町の支援充実に期待したい。

社会保障の充実
は、国の制度の部分はすべてしっかり取り組まれていると評価する。

以上のとおり、『健康で明るく暮らせるまち「美深」』における施策評価は、A評価が
5施策、B評価は1施策、全6施策を通しては、取り組まれていると評価する。

○ みんなでつくる心かようまち「美深」

住民主体のまちづくりの推進
では、新しい公共事業の実証事業に着手したことは評価で
きる。今後の利用拡大と定着を見守りたい。

地域人材育成事業では、若手リーダーの育成事業として、民間と町職員による研修に取
り組んでいるが、参加者等の募集や継続した人材の育成に工夫が必要である。

コミュニティ活動の充実
では、一定の支援により自治会活動の推進が図られているが、
課題となっている高齢化や人手不足については、それに対応した自治会活動へと改善でき
るよう行政の指導を期待する。

地域集会施設等の充実
では、老朽化による修繕については随時対応していると評価する。

さらに、ほっとプラザスマイルの完成によって、自治会活動が推進されると期待できる。

男女共同参画の推進
では、男女共同参画意識の高揚について、行政の各種委員の女性参
画は進んでおり、また、町内の各種行事などでも女性の参画が見られていると評価できる。

男女共同参画社会の促進
では、一層の啓発活動の充実を図る必要がある。

交流活動の推進
では、地域間交流活動の推進やふるさと会活動において、近年、新たに
関わる人が増えてきた傾向にあり、情報発信と人的なネットワークづくりが図られている
と評価できる。

一方で、若い人の関わりは依然として低調であり、機会を見てふるさと運動をPRする
など今後の取り組みに工夫が必要である。

行政経営の充実
では、厳しい財政状況の中で、役場庁舎の改修については先送りされて
いる状況と思われるが、耐震などの面で十分ではないことから、災害等に強い庁舎の確立
に向け計画を進めてほしい。

以上のとおり、『みんなでつくる心かようまち「美深」』における施策評価は、A評価
が2施策、B評価は3施策、全5施策については概ね取り組まれていると評価する。

以上、平成25年度行政評価報告とする。

